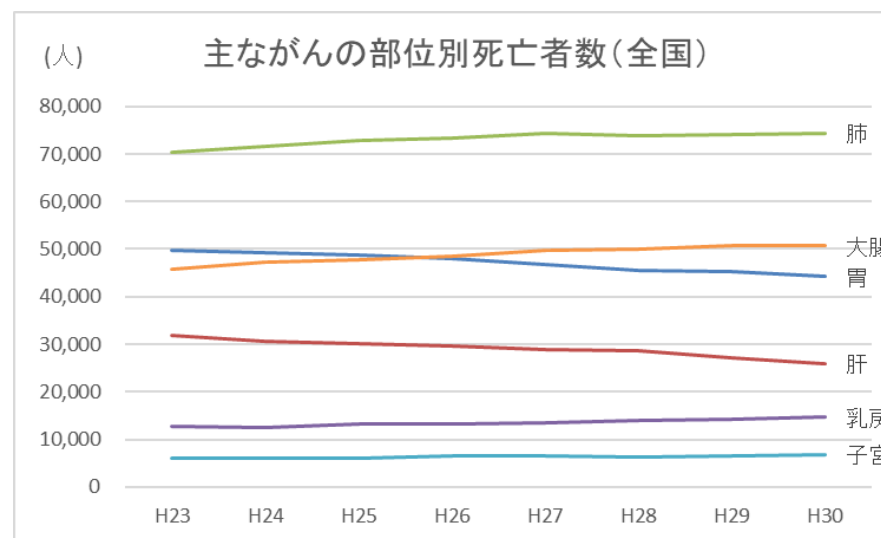
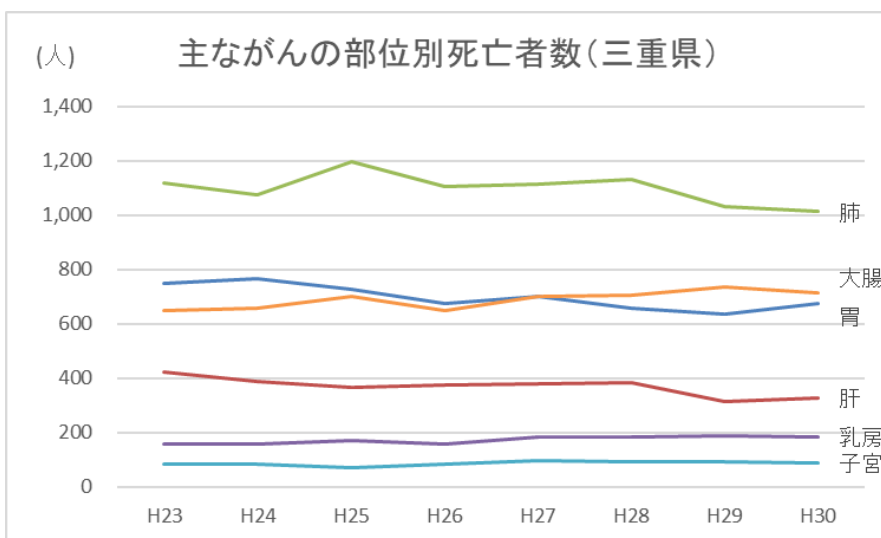


# がん登録情報等から見た三重県の状況について

## I. 三重県のがんの状況

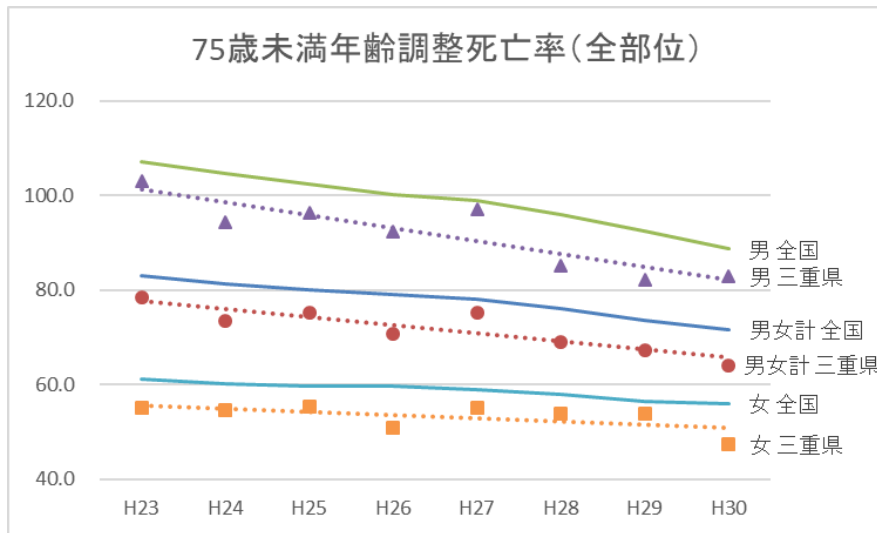
### 1. 主ながんの部位別死亡者数の推移



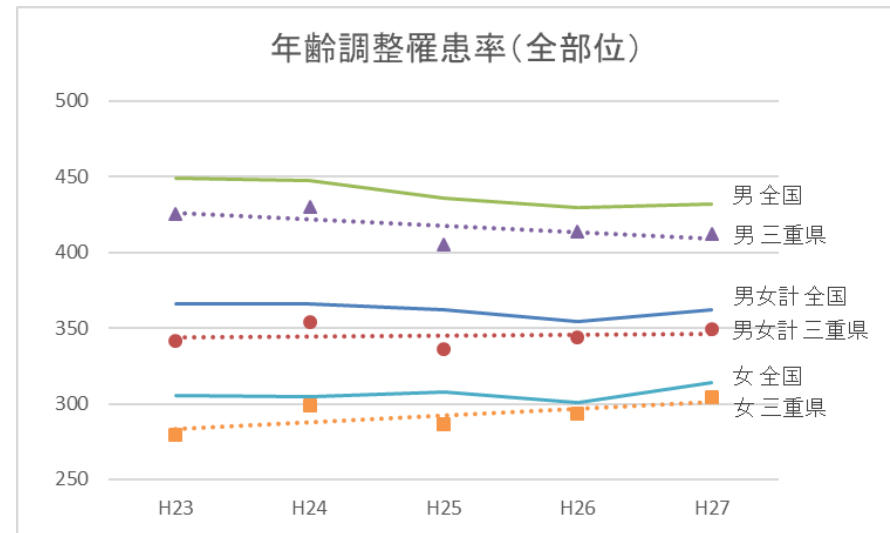
※人口動態統計

- ・ 三重県、全国とも、肺がんが最も多く、以下、大腸がん、胃がん等となっている。胃がん、肝がんは減少傾向だが、大腸がんは増加傾向にある。

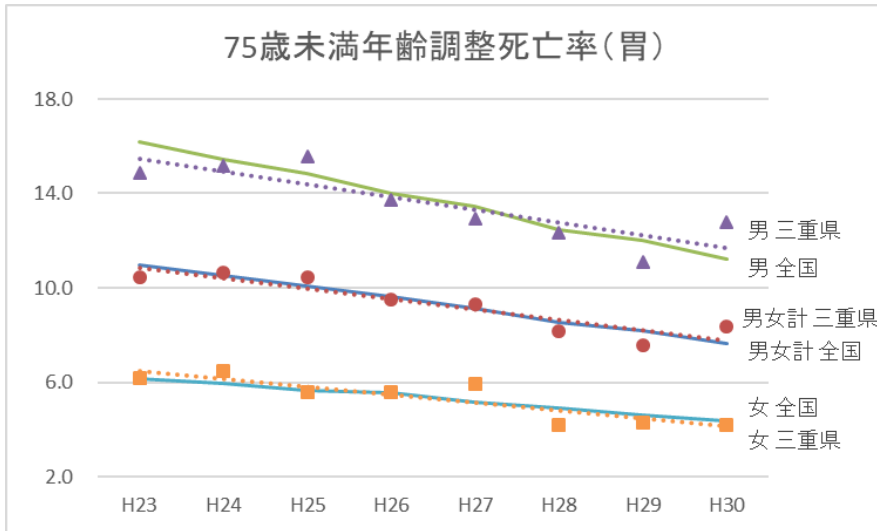
## 2. 75歳未満年齢調整死亡率と年齢調整罹患率の推移



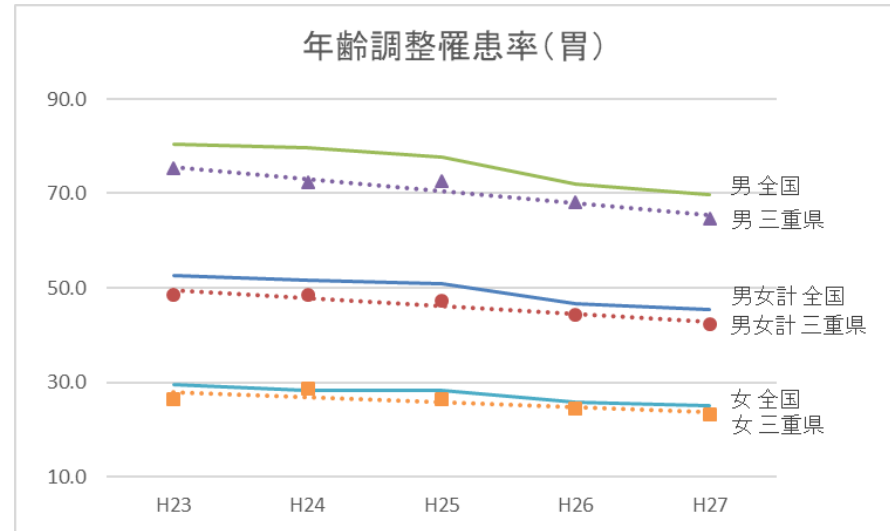
※国立がん研究センターがん情報サービス



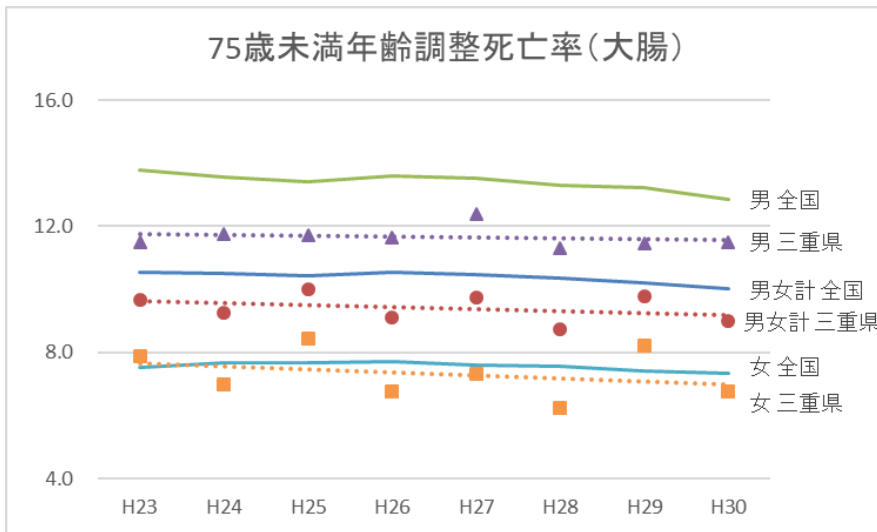
※全国がん罹患モニタリング集計



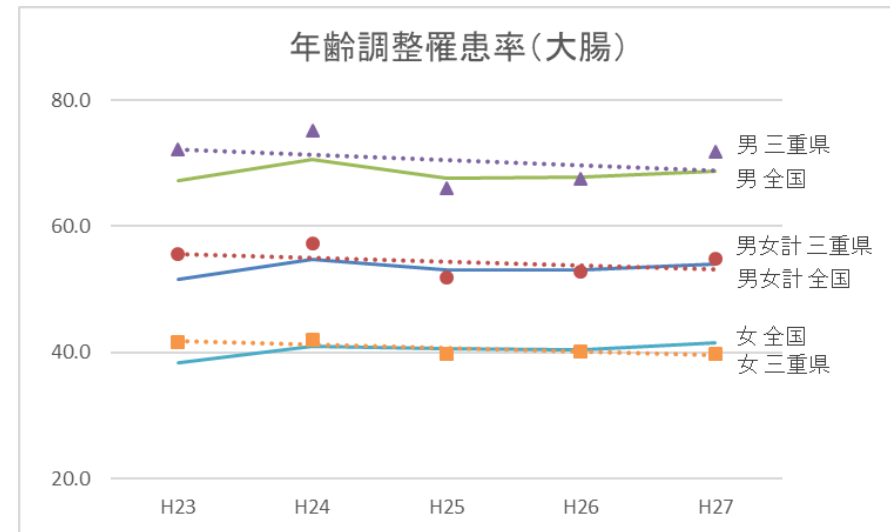
※国立がん研究センターがん情報サービス



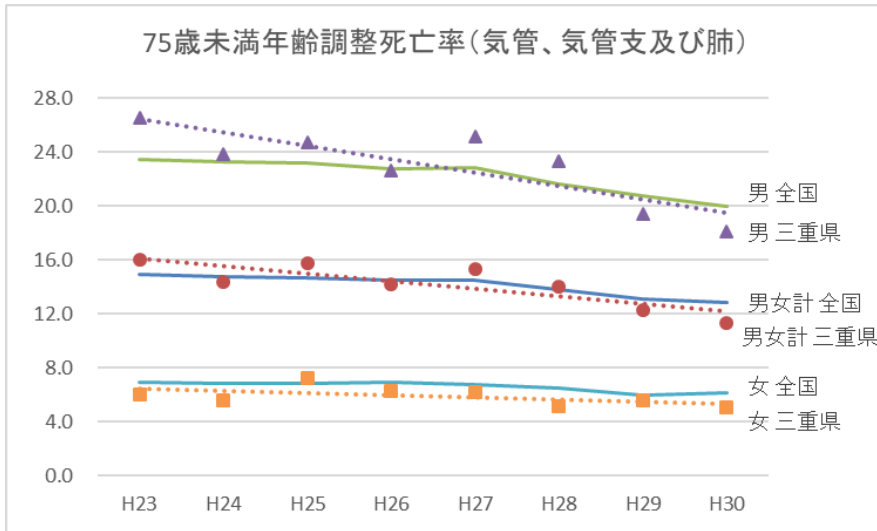
※全国がん罹患モニタリング集計



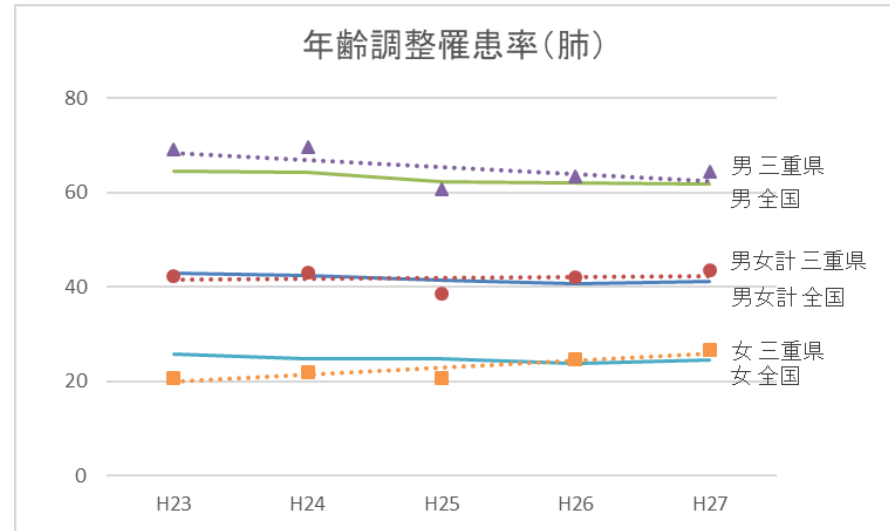
※国立がん研究センターがん情報サービス



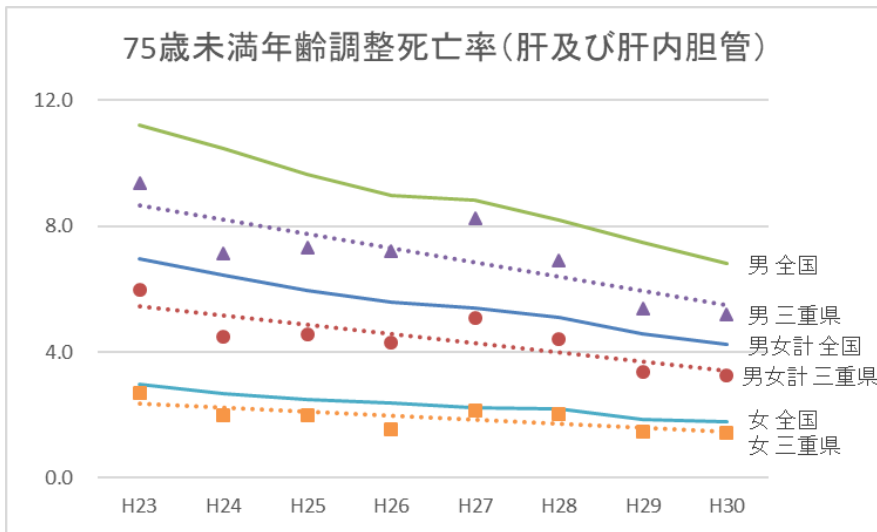
※全国がん罹患モニタリング集計



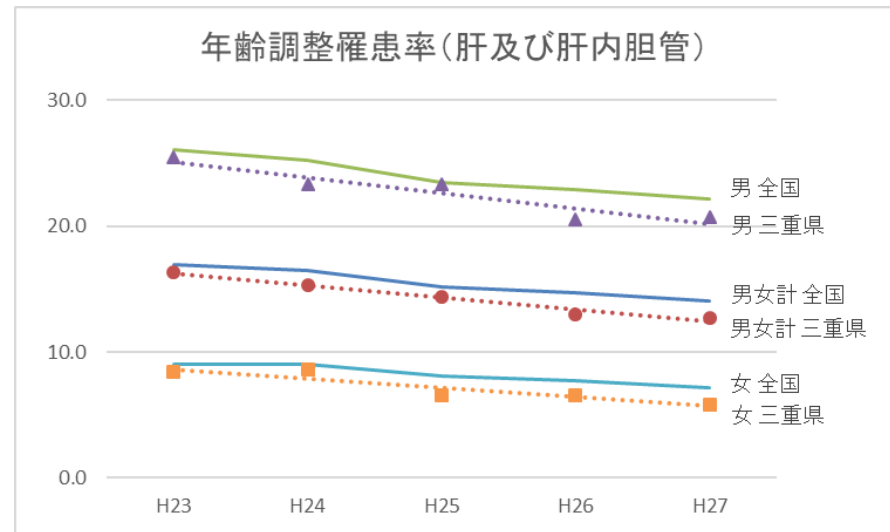
※国立がん研究センターがん情報サービス



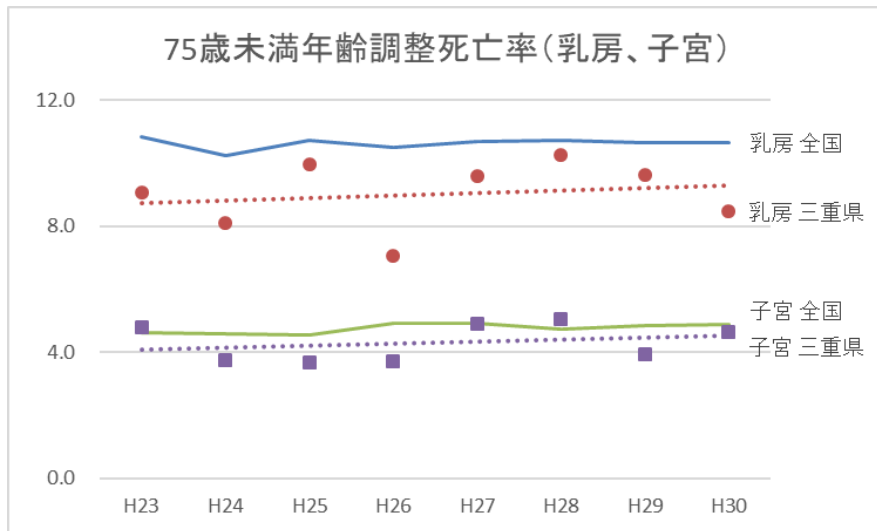
※全国がん罹患モニタリング集計



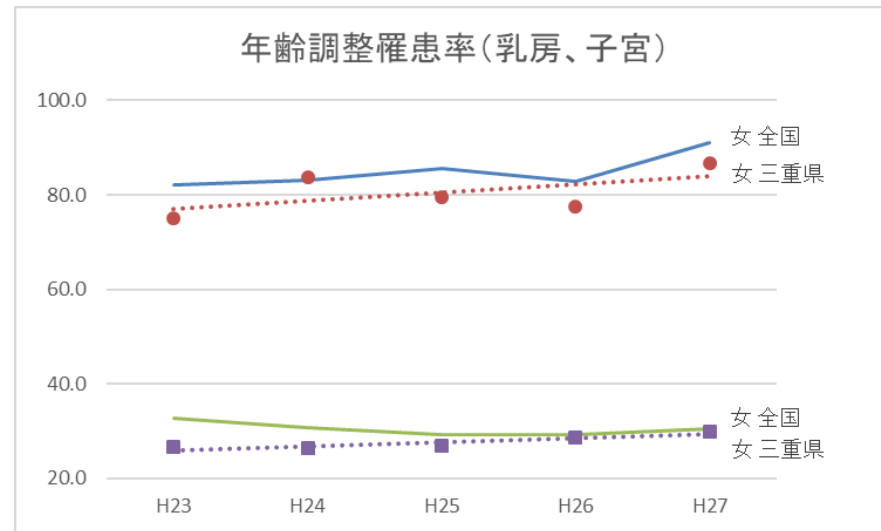
※国立がん研究センターがん情報サービス



※全国がん罹患モニタリング集計



※国立がん研究センターがん情報サービス



※全国がん罹患モニタリング集計

### 【全部位】

- ・ 死亡率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも減少傾向。
- ・ 罹患率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも横ばい傾向だが、男性はやや減少傾向、女性はやや増加傾向。

### 【胃】

- ・ 死亡率は全国と同程度か低い水準で推移している。全国、本県とも減少傾向。
- ・ 罹患率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも減少傾向。

### 【大腸】

- ・死亡率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも横ばい傾向。
- ・罹患率は全国と同程度で推移している。全国、本県とも横ばい傾向。

### 【肺】

- ・死亡率は男性では全国より高い水準で推移しているが、女性では全国より低い水準で推移している。全国、本県とも男性で減少傾向。
- ・罹患率は男性では全国より高い水準で推移しているが、女性では全国と同程度で推移している。全国、本県とも男性では減少傾向だが、女性では横ばい傾向。

### 【肝及び肝内胆管】

- ・死亡率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも減少傾向。
- ・罹患率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも減少傾向。

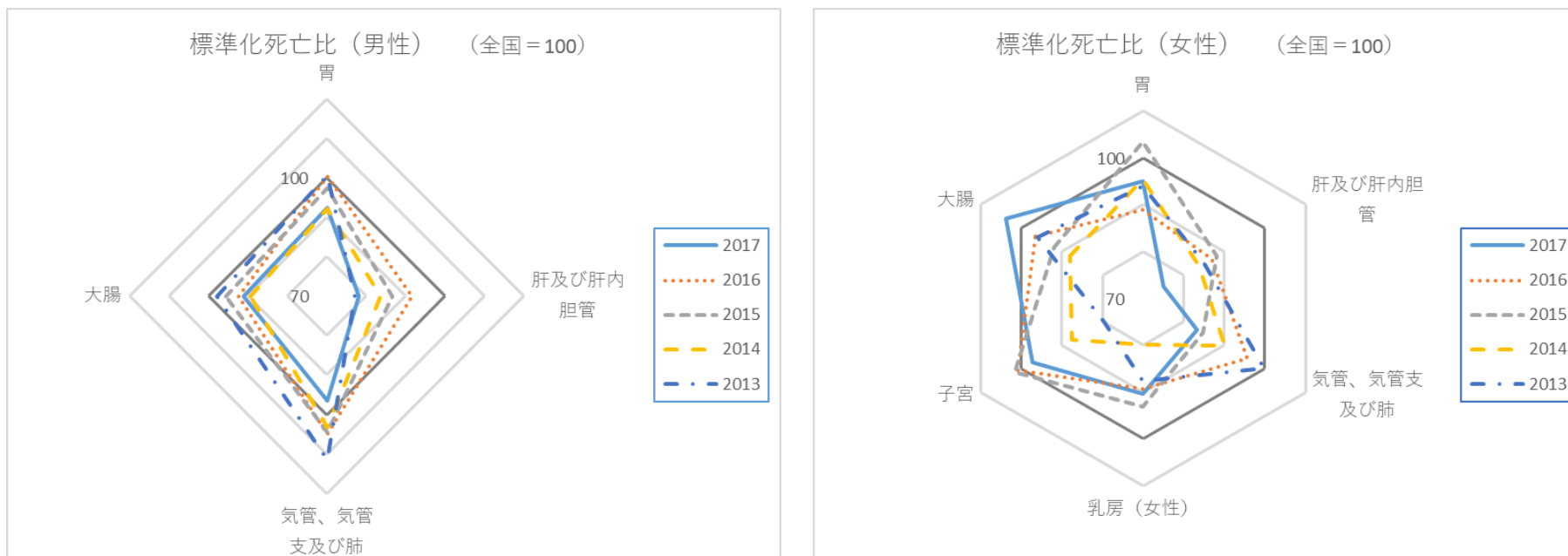
### 【乳】

- ・死亡率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも増加傾向。
- ・罹患率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも増加傾向。

### 【子宮】

- ・死亡率は全国より低い水準で推移している。全国、本県とも横ばい傾向。
- ・罹患率は全国と同程度で推移している。全国、本県とも横ばい傾向。

### 3. 主ながんの標準化死亡比（2013～2017年）注



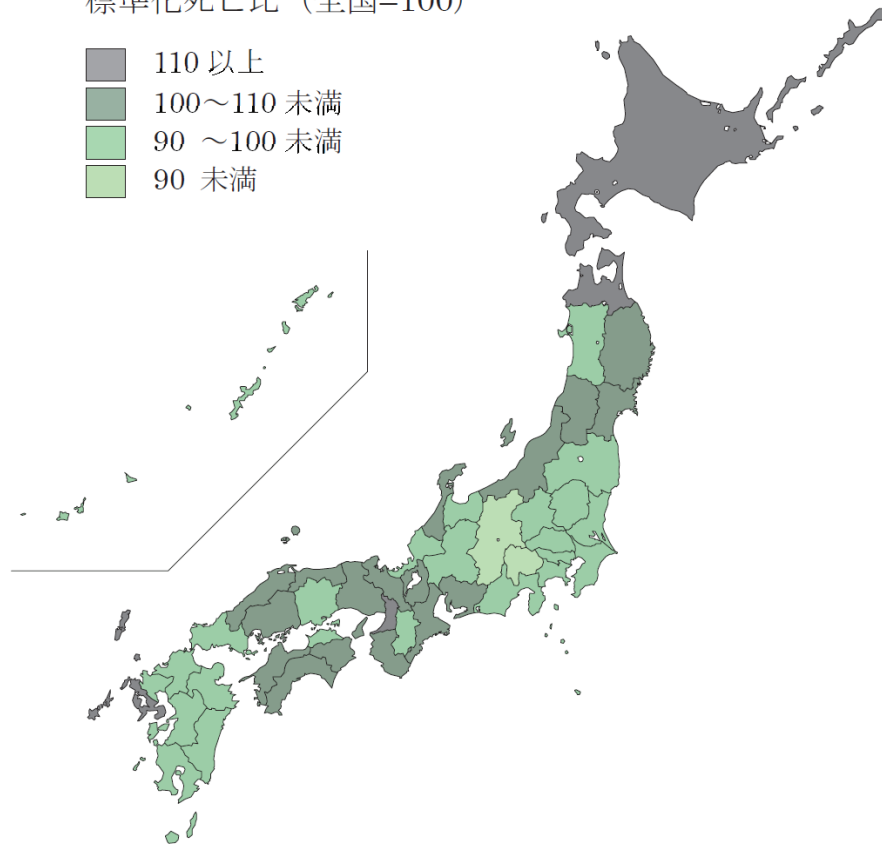
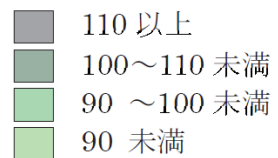
※国立がん研究センターがん情報サービス グラフデータベース

- ・ 男性の肺がんで 100 を上回っている年が多い（2013～2016年）。女性は単年では 100 を上回っている年はあるが、概ね 100 を下回っている。

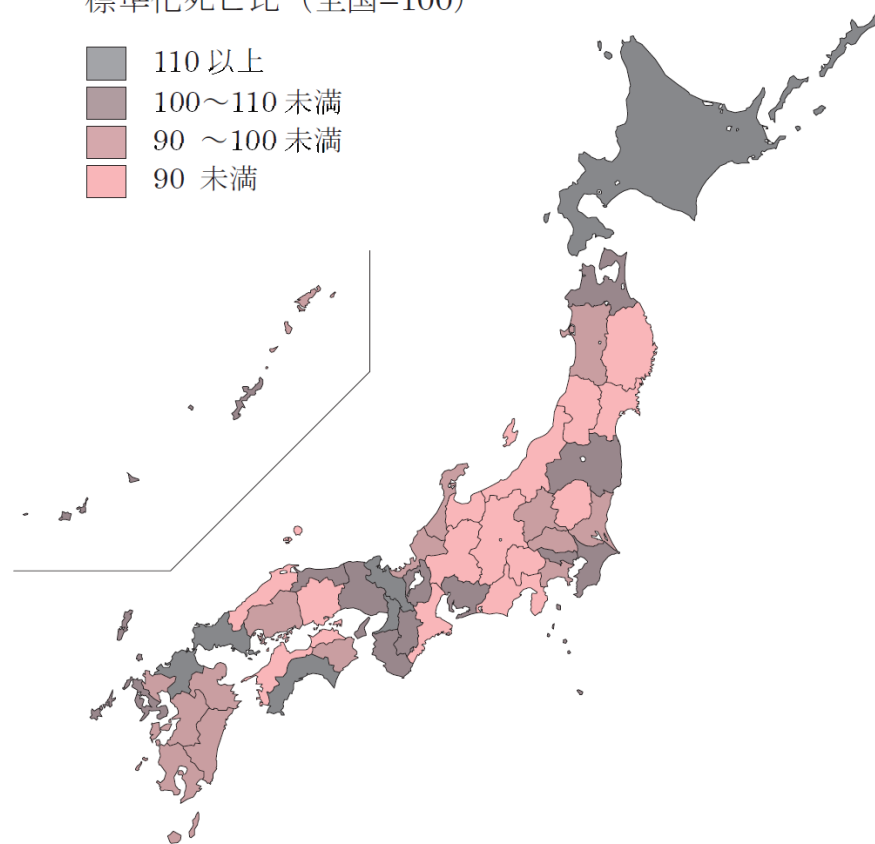
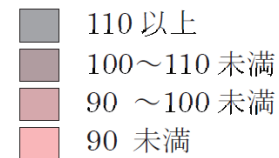
注）標準化死亡比：人口構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。標準化死亡比が 100 より大きい都道府県は全国平均より死亡率が高く、100 より小さい場合は全国平均より死亡率が低いことを意味する。

#### 4. 標準化死亡比（2015年・肺がん）

標準化死亡比（全国=100）



標準化死亡比（全国=100）



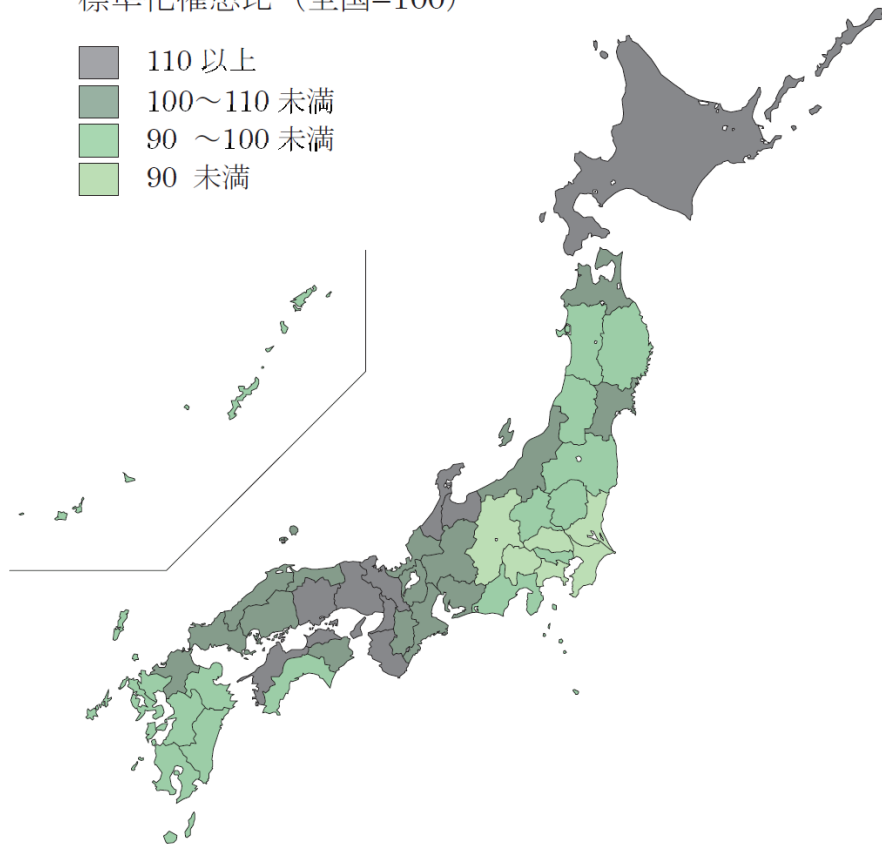
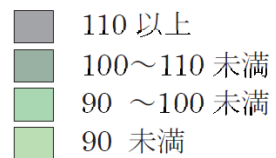
※全国がん罹患モニタリング集計 2015年罹患数・率報告

・男性では、北海道、近畿で高い。女性でもほぼ共通した傾向。

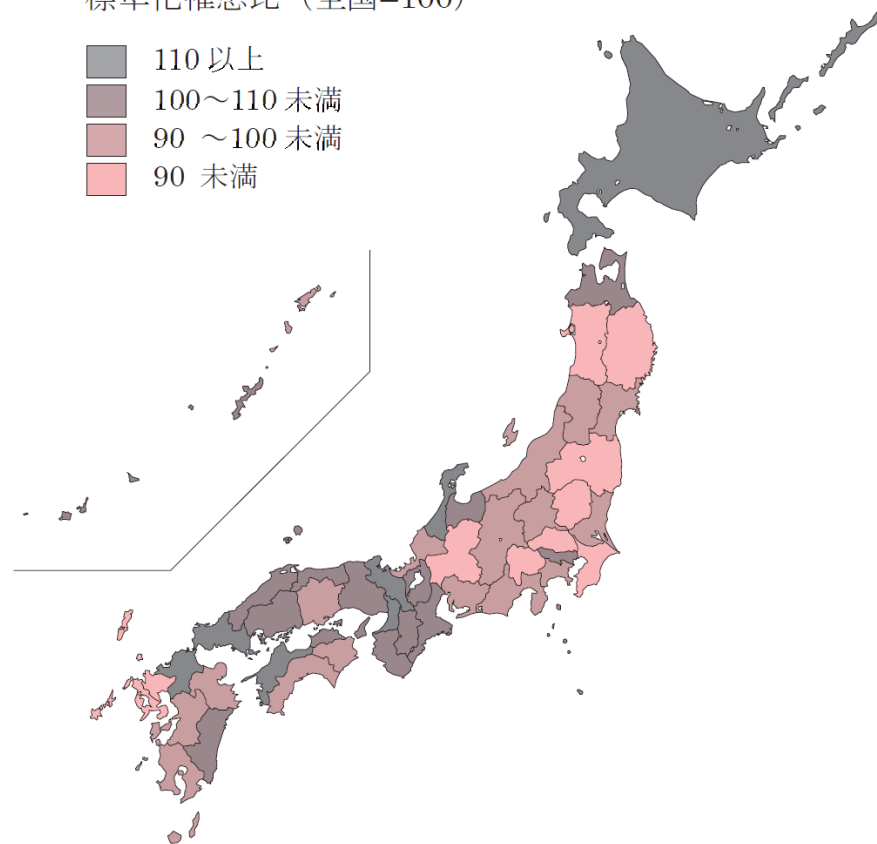
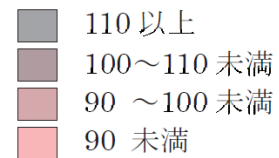


## 5. 標準化罹患比（2015年・肺がん）

標準化罹患比（全国=100）



標準化罹患比（全国=100）

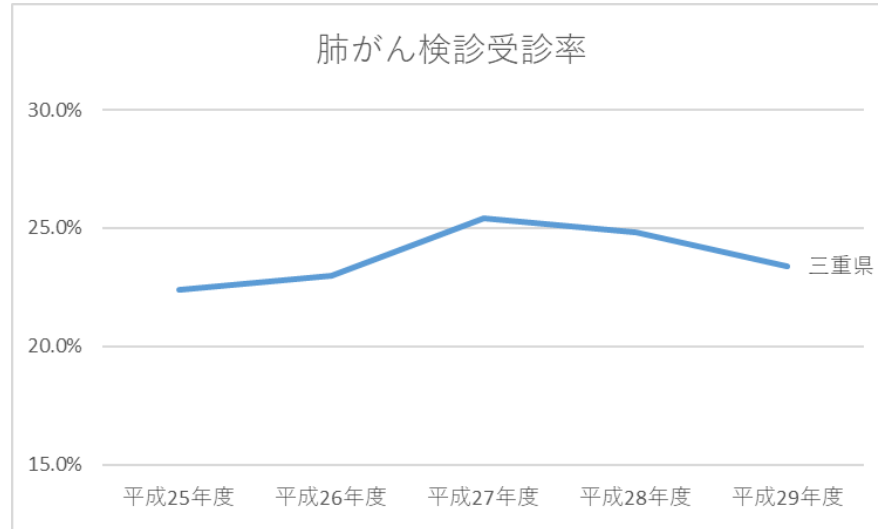


※全国がん罹患モニタリング集計 2015年罹患数・率報告

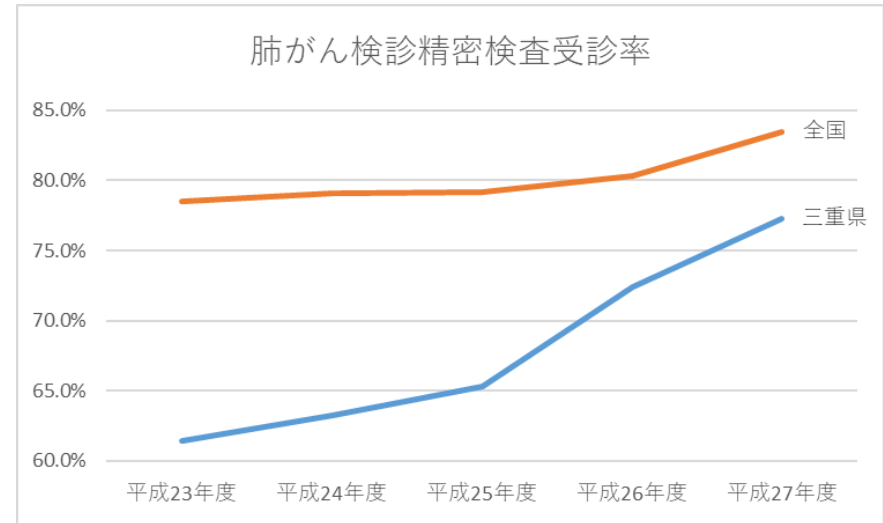
- ・ 死亡と類似した分布（男性では、北海道、近畿で高い。女性でもほぼ共通した傾向）。

## Ⅱ. 検診、診断、治療の状況

### 1. 肺がん検診の状況



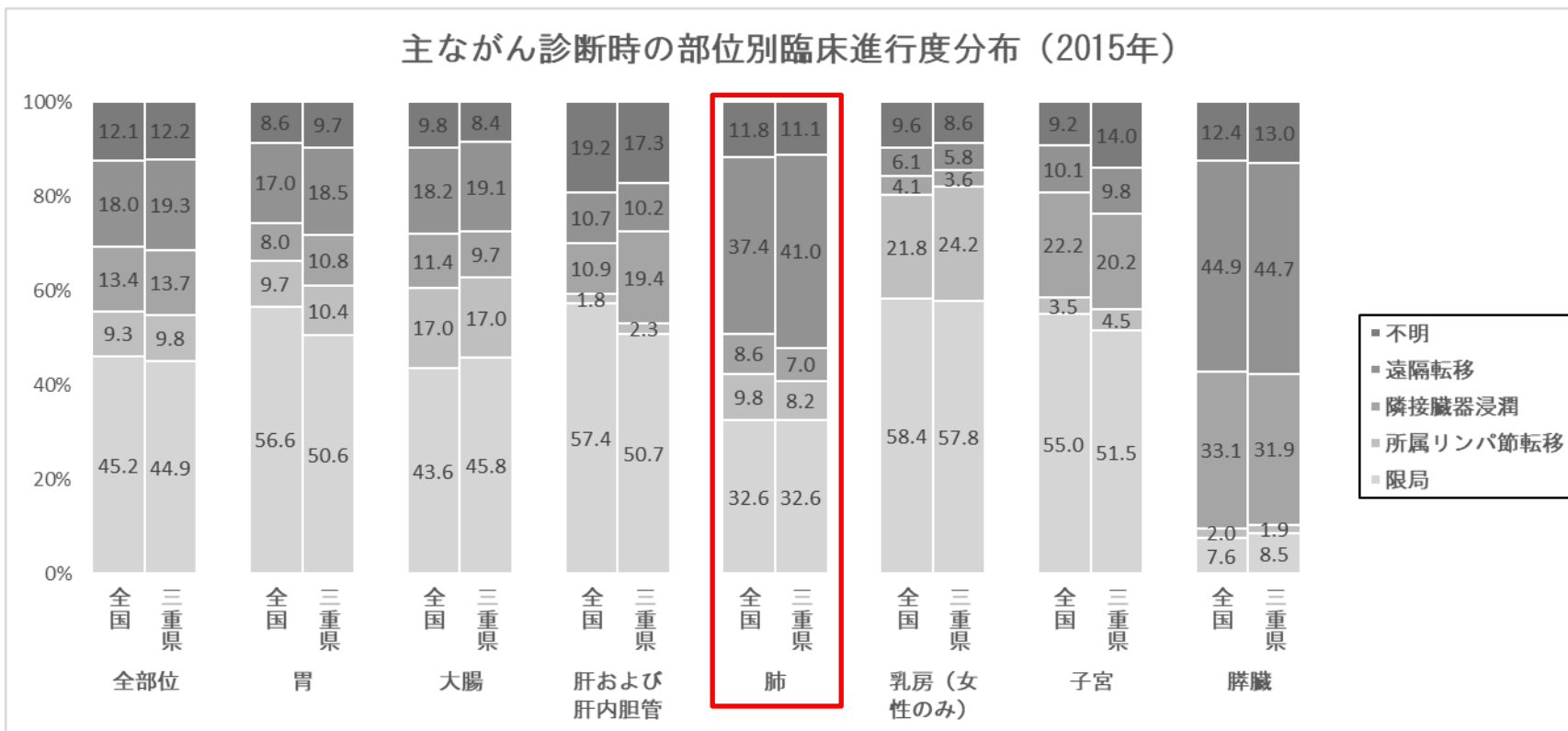
※地域保健・健康増進事業報告から三重県試算



※地域保健・健康増進事業報告

- ・ 肺がん検診受診率は 20% よりやや高い水準で推移している。
- ・ 肺がん検診における精密検査受診率は、全国平均より低い水準で推移しているが、近年は改善傾向。

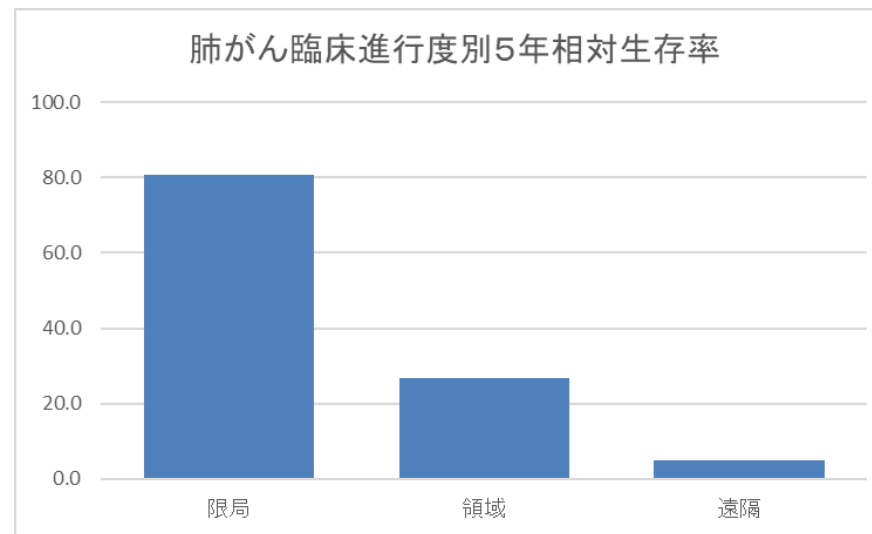
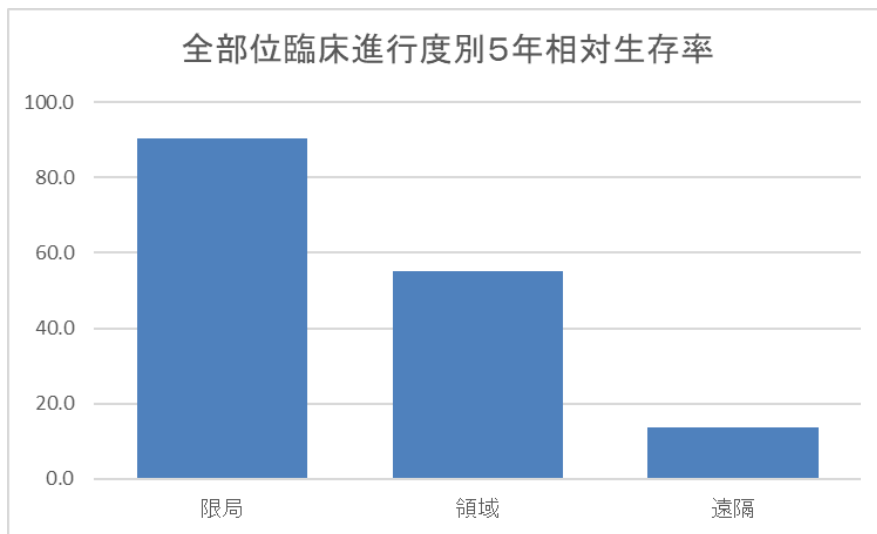
## 2. 主ながん診断時の部位別臨床進行度分布



※全国がん罹患モニタリング集計 2015年罹患数・率報告

- ・ 診断時の臨床進行度分布において、がん検診が行われているがん種では、限局にとどまっている割合が高いが、肺がんでは、診断時にすでに遠隔転移があった割合が高い。

### 3. がんの生存率



※全国がん罹患モニタリング集計 2006-2008 年生存率報告

- ・ 全部位、肺がんとも、限局でとどまっている場合の5年相対生存率は80%以上だが、遠隔に転移している場合は、極めて低くなる。

### Ⅲ. 三重県におけるがん死亡率減少に向けた方向性

#### 1. 死亡の状況

- ・がん死亡者数は、全国、三重県とも、肺がんによるものが最も多い。
- ・75 年齢調整死亡率は、三重県は全国平均より低い水準で推移している。
- ・標準化死亡比は、男性の肺がんで 100 を上回っている年が多い。  
⇒肺がんの死亡率を減少することで、県の死亡率の減少が見込まれる。

#### 2. 肺がんの状況

- ・75 歳未満年齢調整死亡率は、男性で全国平均より高い水準で推移している。
- ・年齢調整罹患率は、男性で全国平均より高い水準で推移している。

#### 3. 検診、診断、治療の状況

- ・肺がん検診受診率は 20%強で推移している。
- ・精密検査受診率は全国平均を下回っているが、近年は改善傾向。
- ・肺がん診断時にすでに遠隔転移があった割合が高い。
- ・肺がん診断時に限局でとどまっている場合の 5 年相対生存率は 80%以上。  
⇒肺がん検診の受診率を向上することで、早期発見（限局での発見）率を向上し、生存率の向上につなげる。